

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	食育推進事業			シート番号	038-087
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	保健給食
				課	評価責任者(課長名)
					寺田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	スポーツと健康づくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 22 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	学校給食法・食育基本法			
	4	関連計画	食育推進基本計画			
5	事業実施の経緯	近年、国民の食生活をめぐる環境が大きく変化し、核家族化やライフスタイルの変化に伴い、家族と食卓を囲む機会の減少、食習慣の乱れ、栄養の偏り、肥満や生活習慣病の増加、食の海外への依存、伝統的な食文化の危機、食の安全等、様々な問題が生じている。国では、平成17年7月に食育基本法が施行、平成18年3月には食育推進基本計画が策定された。また、平成21年4月には改正学校給食法が施行され、学校給食の目的として学校における食育の推進が新たに規定された。小学校に続き、平成24年4月から全面実施の中学校学習指導要領にも食育の推進が明記され、学校における食育の推進が図られることになった。本市においても平成19年3月に策定した「堺市食育推進計画」の推進状況を検証し、平成24年3月に「第2次堺市食育推進計画」を策定した。平成29年3月には、「第2次食育推進計画」の推進状況の検証をふまえ、「第3次堺市食育推進計画」を策定した。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市立幼・小・中・支援学校の幼児児童生徒および保護者				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	堺市立幼・小・中・支援学校の幼児児童生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、学校・家庭・地域が連携した食育の推進を図る。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	小・中学校への食通信の配付や食育フェアを開催し、学校給食の役割や食育の大切さについて児童生徒や保護者・市民に普及啓発する。また、教職員や保護者・市民を対象に食育講演会を開催し、広く食育の推進を図る。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					

Ⅲ. 投入量

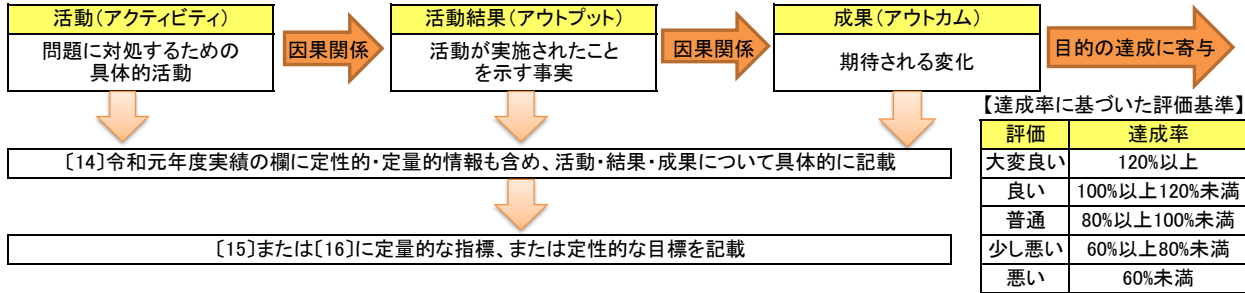
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	769	644	467	364	236	235	422	
	主な事業費内訳	弁当レシピ集	千円	207	163	207	173	0	0	0
		食育フェア・講演会等	千円	562	481	260	191	236	235	422
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
その他()		千円								
	一般財源	千円	769	644	467	364	236	235	422	
12	人件費 (b)	千円	3,280	3,280	3,280	3,280	3,240	3,240	3,280	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	4,049	3,924	3,747	3,644	3,476	3,475	3,702	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	食育推進事業	シート番号	038-087
-------	--------	-------	---------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績								
活動実績と成果	14	教職員や保護者・市民を対象とした「食育フェア」「食育講演会」の開催により、学校給食の役割や食育の大切さについて児童生徒・保護者・市民に普及啓発した結果、減塩についての理解が深まった、減塩を意識した行動をとるきっかけになったとの意見が多かった。						
	15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		食育フェア来場者数	人	目標値	2,500	-	-	-
				実績値	788	-	-	-
				達成率	32%	-	-	-
				評価	悪い	-	-	-
		算出方法・設定根拠など						
		3年に1回会場を借上げ大規模な食育フェアを実施(※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施しないため、目標値設定せず)。別途、本庁エントランスホールにてパネル展示を毎年行う。H30年度、令和元年度は、パネルのみの展示であり来館者数は計測していない。						
	16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		朝食を毎日食べる児童の割合(小6)	%	目標値	90	100	100	100
	実績値			85	84	85	-	
	達成率			94%	84%	85%	-	
	評価			普通	普通	普通	-	
	算出方法・設定根拠など							
	平成29年度、30年度は「子どもがのびる」学びの診断結果。令和元年度は全国学力・学習状況調査堺市結果。							

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	食育フェア来場者数	人	788	-	-
	②	上記①にかかる年間経費	千円	3,761		
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	4,773		
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	朝食を毎日食べる児童の人数(小6)	人	-	-	6,085
	②	上記①にかかる年間経費	千円			3,475
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			571
	備考(算出についての説明等) 平成29年度、平成30年度は実数不明のため、令和元年度のみ記載					

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
19	教職員に「食育実践事例集・食育指導案集」を活用した研修を行ったり、保護者、市民向けに内容を工夫した「食育フェア」や「食育講演会」を開催、また紙面構成や内容を工夫した食通信を通して、家庭・地域へ広く食育の推進を図ることができた。 児童の朝食喫食率の横ばい傾向について、その向上を図るために、学校・家庭・地域が連携した食育を推進し、児童の食環境の改善を啓発していく必要がある。	<p style="font-weight: bold; margin: 0;">【分析のチェックポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の達成度はどうでしたか。 ○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。 ○ 資源投入は適切でしたか。 ○ 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。 ○ 有効性は高いですか。低いですか。 ○ 効率性は向上していますか。 ○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。 ○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	食育推進事業	シート番号	038-087
-------	--------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 幼児児童生徒および保護者が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける機会がなくなる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 幼児児童生徒および保護者が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける機会が減少する。 休止の場合の再開時期 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 幼児児童生徒および保護者が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付ける機会が減少するため、縮減できない。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 ホールでの食育講演会の開催は3密を避けることが難しいため、3密を避けることが可能な会場や方法を検討する。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部署等との適切な連携・役割分担 関係部署名 (健康医療推進課) 関連事業名 (食育推進事業) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から講演会や大規模な食育フェアの開催が困難になることも踏まえ、各教室内に整備されているテレビ等やタブレットを利用した食育教材の提供の検討 ・他部署と連携し、地場産物の活用等を促進することにより、食育の推進を図る
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 【課題】朝食の摂取状況は近年ほぼ横ばい傾向にあり、食育に関して積極的な取り組みがみられない保護者に対し、食通信、食育フェア、食育講演会等を活用したより効果的な情報発信を検討、改善し、家庭における食育の推進を図ることが必要である。食育指導案・食育実践事例集を活用する等、学校での食育の推進を図り、学校・家庭・地域が連携して児童生徒の食環境の改善に努める必要がある。 【改善内容】食育フェアや食育講演会について、開催場所や開催方法、広報等を見直すとともに内容の充実を図ることにより、より多くの保護者や市民に参加してもらおう。また食育について効果的に伝達するとともに、家庭や地域と連携を図る。教職員に対し、食育指導案・食育実践事例集の具体的・効果的な活用研修を行い、学校における食育の推進を図る。引き続き、食通信の内容を充実させ、児童生徒や保護者に広く食育の情報を発信する。		